

ORICNEWS 翔飛 ひしよ

No.10 (2005.11)

入浴介助者用冷房介助スーツ カーナピュア

- 新開発蓄冷パッケージ採用
- 軽量爽やか伸縮性メッシュ素材
- 腰に負担のかかるお仕事の方に



Carna
Pure

入浴介助者用冷房介助スーツ
カーナピュア 特許出願中

シャキッ
と爽やか
ダブルリフレッシュ機能!

www.universal-techno.com



株式会社ユニバーサルテクノロジーズ

詳細は7ページの企業紹介をご覧ください。

目次

巻頭言	2
研修・交流会活動	3～5
入居者の活動・トピックス	6～7
入居企業のご紹介	7
新入居者のご紹介	8
INFORMATION・入居案内	8



「ORIC入居企業に期待すること」

エヌ・アイ・エフ SMBC ベンチャーズ株式会社

執行役員 関西支社長 実歳 英雄

私どもエヌ・アイ・エフ SMBC ベンチャーズ(株)は、本年10月1日に大和証券グループのエヌ・アイ・エフベンチャーズと三井住友フィナンシャルグループのSMBCキャピタルが合併し、「エヌ・アイ・エフ SMBC ベンチャーズ(株)」として新たなスタートを切りました。

岡山県下の既上場企業数は22社(平成17年9月末現在)となっていますが、その内6社への投資を行い、その上場の一助を担ってきました。

私が平成2年に本会社に転職し、早くも15年が経過しました。当時の営業は「ベンチャーキャピタル」の説明から行わなければならない時代でしたが、昨今では新聞紙上に「ベンチャーキャピタル(以下VC)」「ベンチャービジネス(以下VB)」の言葉が出ない日は無いほどに、一般化してきました。

また、当時は上場を喚起する営業の際、「経常利益5億円は出せますか」といった台詞を使ったこともありました。しかしながら今日「東証マザーズ」「大証ヘラクレス」といった新興市場の創設により、未だ利益を計上するに至っていない若い企業でも、将来の成長性・企業変化率が期待・予測できれば上場が可能となりました。

私どもVCとしましては、ORIC入居企業の中

から、1社でも多くの投資/上場企業が生まれてくることを期待しております。

一方、企業にとって上場することは、決して最終目標ではありませんし、また、上場することに意味を持たない企業があることも事実です。しかし、私は「会社」という形態で起業した時点で、それは「社会性」を同時に持ったものと考えています。更に、自治体が運営する施設に入居した企業として、その「社会性」はより重い意味を持っていると考えます。1社でも多く、1日も早く、良い意味での卒業生が生まれ、岡山の地に社会的還元できる企業が育つことを、大いに期待しております。

ベンチャー(Venture)には、名詞では「冒険・投機」という意味があり、動詞として「・・・を危険にさらす」「危険をおかして・・・をする」といった意味もあります。ある英和辞典に「He ventured his fortune on a single chance. (彼は1回のチャンスに財産をかけた)」という例文が記されていました。VBにとって、起業することは決して「1回だけのチャンス」ではありません。そして、それは決して「冒険」であってはなりません。緻密な計画と経営戦略があってこそ真のVBと言えることをお伝えして最後といたします。

研修・交流会活動

ORIC 交流会及びセミナー

■ 7 月 度

● 交流会: 事業紹介 (株)アスコルバイオ研究所

岡山大学薬学部名誉教授の山本格社長が創業

した(株)アスコルバイオ研究所から、新商品の紹介がなされました。同社は世界初の安定・持続型の新ビタミンC「AA-2G」(国際特許取得済み)の商品開発が実を結び、この7月7日から「PROVITAC」(プロビタシー)という

商品名で発売を開始しました。「ビタミンCは病気の予防に有効なビタミンとして知られていますが、従来のビタミンC剤は、熱・酸素・光などに対し弱いという欠点があります。「AA-2G」はこの欠点を解決し、安定性、安全性、持続性の高いビタミンCとなっています。厚生労働省・食品衛生法の規定に基づき食品添加物に指定され、服用できる世界で初めての安定型ビタミンとして認可されています。本製品は、皮膚粘膜の健康維持、メラニン色素を抑制する美白効果、コレステロールの減少、たんぱく質の寿命を延ばす、抗酸化作用による老化防止、コラーゲンの生成促進、鉄の吸収促進などの有効性が認められている。」(山本社長、石橋研究員) 購入方法は同研究所ホームページ(<http://www.ascorbio.co.jp>)から注文できます。送料、消費税、代金引換手数料込みで60包入り(1か月分)定価6,000円。数量によっては割引価格もあるとのこと。今後、AA-2G添加ドリンク、AA-2G添加豆乳及びヨーグルト、AA-2G含有芳香水溶液、AA-2G強化ルイボス茶「ルイボスC」や芳香消臭液「ハーバルアクア」などの商品化を予定しています。



同社が岡山市佐山にオープンしたアンテナショップ「C' Cafe (シーカフェ)」プロビタCの販売及び飲食スペースも有ります

●卒業企業の事業紹介

(株)フィアモ (旧: アドテック株)

7月度の外部企業紹介は、本年3月にORICを卒業した(株)FIAMO(旧:アドテック株)社が行いました。同社は入居期間中に岡山大学と共同研究で取組んできた高感度不純物モニターの開発が進んで、今春から岡山県水島地区に開発拠点を移し、製品(商標「FIAMO」)の販売を開始しています。本製品は、半導体製造分野等で使用される高純度薬液中の超微量の不純物を測定でき、しかも、従来法では非常に高価なIC

P-MS(質量分析)を使い、分析に約1日かかったものが、同社の装置は「大変廉価で、かつ、同社の調合した検査薬と組合せて、不純物中に含まれるFe元素などを極めて短時間(3~10分)にできる」という優れものとなっています。販売開始後からお客から高評を得ており、今後の順調な販売が期待されています。同社は、当面、2年後の年商を12億円に置き、数年以内の新興市場上場や将来の東証一部上場を目指して頑張っています。



金属自動測定モニター「FIAMO」

●ORICセミナー

『顧客が顧客を呼ぶ「掛け算型マーケティング」とパブリシティの活用』

セミナーでは、(株)CAPコンサルティンググループ・取締役チーフコンサルタントの神埼充氏が「掛け算型マーケティングとパブリシティの活用」について講演されました。まず、掛け算型マーケティングでは、(1)「ロコミを戦略的に作り上げること。」:ロコミは掛け算で顧客を増大させると説明され、ロコミ成功のポイントを10点上げられた。また、(2)パブリシティの活用では、パブリシティ活動での成功のポイントとして、①マスコミの行動特性や宿命を理解した上で行動すること。②メディアや記者クラブの特性を知っておくこと。③記者の立場やプライドを尊重すること。④結果を求め過ぎず、ニュートラルな姿勢で行動すること。等具体的に挙げて説明され、メディアを有効に活用する上で、大変貴重なアドバイスとなりました。

■8月度

●交流会:事業紹介 アロイ工業株

アロイ工業株は7月に入居したばかりの企業です。同社は少人数(24名)ですが、Sinter Hip法による超硬粉末の焼結に世界で最初に成功し、製品は英仏海峡トンネル掘削機のカッタ

ーバイト等に採用されています。また、「H16年度地域申請コンソーシアム事業」等にも採択されるなど優れた技術を有して、積極的な研究開発を行っています。当センターでは、従来にない高効率で、超精密加工が可能な、新しい金属射出成形プロセスの実用化研究を行っており、本技術が開発されると精密な粉末冶金製品を廉価に生産することができ、中国での生産品に対しても競争力が得られるとのこと。岡山県の「マイクロものづくり」にも利用できる有力な武器にもなり、早期の技術開発の完成と一層の飛躍が期待されています。



掘削用超硬ビット設計例
3Dシミュレーションによる確認

●ゲスト企業・機関の事業紹介

岡山県立大学デザイン学部

「学部紹介／商品とデザイン」

岡山県立大学は、1993(平成5)年に設立された。保健福祉学部(看護学科、栄養学科、保健福祉学科)、情報工学部(情報通信工学科、情報システム工学科)、デザイン学部(ビジュアルデザイン学科、工芸工業デザイン学科)、3学部から構成されています。今回は、商品に於けるデザインの重要性や県立大学のデザイン学部の活用する方法について紹介をして頂きました。

「現在ではデザインなしの商品や商品企画は考えられず、デザイナーは企業と消費者をつなぐ重要な役目を担っており、ますますその重要性を増してきているという時代環境の説明の後、時代の要請に応じて、実学重視の『強い』デザイン学部をめざして平成18年度に学科再編を行い、これからの社会や産業分野において、時代の求める新たな価値を創造するデザイン工学科とデザイン本来の『表現』の練磨を重視する造形デザイン学科を設けること、そして伝統技術と最新技術の融合を図るデザイン教育を推進

していく」との今後について説明がありました。民間企業から転進し故郷岡山の地で産業振興のために努力されているご自身の地場企業との連携事例を含めて産学官連携の重要性を説かれ、「ORIC入居企業の共同研究についてもどしどし相談願いたい。費用は相談に応じる」とユーモアを交えて、参加者にエールを送られた。

●ORICセミナー

『法律セミナー：

企業をめぐる最近の法改正について』

この7月から毎月1回、ORIC入居企業に対して個別法律相談会を行っている小林裕彦弁護士から平成18年4月1日から施行される新会社法について①有限会社と株式会社法制の統合、②機関設計(取締役の数や取締役会・監査役の有無といった会社の組織編制)の柔軟化、③会計参与制度(取締役と共同で決算書などを作成、株主総会でその内容を説明する義務を負う役員)の導入、④最低資本制度の撤廃、などについての説明がありました。この他にも、リストラや企業組織再編が進展する中労働紛争の増加を背景に労働事件へのため労働審判制度の新設されたことや、不動産登記法改正、裁判員裁判の新設などについて、実例を交えながら判り易く、丁寧な講演をされました。

■9月度

●交流会：入居企業の事業紹介

メディアエリアサポート企業組合

同社は循環器および脳神経・筋電機器分野で国内でシェアを持っていたNECメディカルシステムズ(株)が吸収合併されたのを機に同社岡山支店社員が独立して設立した企業組合です。Wavelet「ウェーブレット」解析方法を用いて筋電図解析を行う新機能評価システムの開発を行います。本システムリハビリテーション(理学療法)分野で、このシステムを活用すると、従来の筋電図解析以上に高度で有効な筋力向上に寄与できるものと考えられています。つまり「座る、立つ、歩くといった日常生活関連動作に直結した筋の評価を詳しく測定できるようになれば、現状のリハビリテーションでの筋力を向上

させる様々なトレーニング方法がより高度で有効な手段になると期待される」と同企業組合の国里氏が将来に向けた抱負を語っています。このシステムは、吉備国際大学加藤助教授と共同で開発しており、ハード面では現状に比べ軽量・小型化で簡易な操作性オリジナル筋電計を目指し、価格的にも「幅広く臨床家用に普及させるため従来より格段に廉価な価格設定を目標」にして取り組んでいます。

●ゲスト企業・機関の事業紹介

岡山大学 地域共同研究センター

産学連携コーディネーター東（あずま）英男氏が岡山大学地域共同研究センターを紹介されました。同センターは、岡山大学の産学連携組織の中核に位置し、バイオから、医工学、システム工学、新素材・超精密加工、人文科学など、幅広い分野にわたって取り扱っていることや、ご本人はコーディネーターとして、技術相談、技術移転、学内研究シーズ、共同研究などに関する相談を受けていることを話されました。最後に、東氏から「何時でも相談に乗るので、気軽に岡大地域共同研究センターをご利用下さい」との頼もしいメッセージを頂きました。

●ORICセミナー『マーケティング戦略』

監査法人トーマツの中小企業診断士 佐藤康之氏が、Live Doorのホリエモンと親交があるなどの話を混じえ、マーケティング戦略を分かりやすく説明されました。第一部の「今日から出来る実践型マーケティング戦略立案」では、(1) 経営者に必要なマーケティング感覚は、「知識

よりも「意識」の問題（即ち、顧客の気持ちを掴むこと）、(2) 起業化で重要なことは、自分の立ち位置を知ることや「顧客に認知させること」（即ち、差別的な優位性が必要であること）を述べられ、続いて、その場での実習を交えながら、(3)「戦略展開図」の作成、(4)「営業戦略」の構築について説明されました。「戦略展開図」では、洩れなく・ダブリなく・皆が分るように・将来に向けて作ること。また「営業戦略」では、「誘導（広告）→説明（営業）→契約（売上）→満足（リピート）」のビジネス循環が構築出来るように、コンバージョン（商品・サービスを認知した顧客がトライすること）とリテンション（トライした顧客が常連化すること）を生み出すようにとの指摘がありました。

第二部「販路拡大（特に大企業との取引拡大）」では、商品・サービスが大企業のニーズを満たしていることや価格が適切であること等が必要であること、また、大企業の予算編成の仕組みやタイミングを充分確認した上で対応し、いきなりベンチャー企業の社長が交渉に出て行かない方がよい等の助言をされました。



セミナー風景

リサーチパーク交流サロンの開催



10月14日、当センターにて、入居企業やリサーチパーク内に立地の企業、工業技術センター、(財)産業振興財団などの機関が集まり、交流会が開催されました。入居企業の事業紹介や日本植生(株)岡山研究所長の川崎仁士氏の講演が行われた後、場所をセンターの中庭に移し、バーベキュー・パーティを開き、親睦を深めました。また、池上賢太郎・岡山県産業労働部長や折から岡山入りされていた奥村和夫・中国経済産業局長も参加され、総勢60人が集まったの和やかな交流会になりました。

入居者の活動・トピックス

■ 雇用・能力開発機構 衛生通信放送「アントレプレナーDo it」にてORIC紹介

雇用・能力開発機構 衛生通信放送「アントレプレナーDo it」(9月15日放送)にて創業者が活用できる公的支援機関としてORICが取り上げられセンター長インタビューや入居企業のうち数社の研究開発風景が放映されました。また、この他、(株)ユニバーサルテクノロジーズ 河原社長インタビュー、試作中の入浴介助者向け「冷房スーツ」を使用中のビデオも紹介され今後発売に向けてのPRとなりました。

■ ベンチャーマーケット岡山

「ベンチャーマーケット岡山」は岡山県内外のベンチャー企業・中小企業が、金融機関・VC等の投資家の前でプレゼンテーションを行うことにより、資金調達の機会を得るための「出会いの場」として昨年からは開かれるようになりました。7月26日に今年度第1回目が、開催され、ORICからは(株)シスコ・コミュニケーションズと花田技研工業(株)が、9月29日の第2回目には(株)レックウェルが発表を行いました。

■ しんきん合同ビジネス交流会

9月14日に開催された第1回のしんきん合同ビジネス交流会にORICから(株)VOIPACK JAPAN、花田技研工業(株)、(株)JAPAN MAGGOT COMPANY、(株)ユニバーサルテクノロジーズ、アロイ工業(株)の5社が参加しました。本交流会は岡山県内の全信用金庫、中小企業金融公庫岡山支店、(財)岡山県産業振興財団等が合同でそれぞれの取引先を対象にした「ビジネス交流会」で、商談会、ビジネスプラン発表等が行われました。



会場の様子、参加企業数は343社

■ (株)アスacolバイオ研究所がせとうちテレビ経済ウイークリーにて紹介

9月10日放映のせとうちテレビ「経済ウイークリー」にて大学発ベンチャー企業というタイトルで入居企業の(株)アスacolバイオ研究所が取り上げられ社長インタビューが放映されました。7月新発売の世界初の安定・持続型新ビタミンC「プロビタC」のPRとなりました。



今年度第2回目、レックウェルのプレゼン

■ 国際福祉機器展

9月27日から29日にわたり、頭書の展示会が東京ビッグサイトで開催されました。16カ国から630社の団体が展示し、期間中の参加者が13万5千人に達しています。ORICからは(株)ユニバーサルテクノロジーズが福祉用具開発のための岡山県産学官民の連帯組織であるハートフルビジネスおかやまの一社として出展しました。同社の「介護施設向けの『入浴介助者用冷房スーツ』のブースには3,000人を超える来展があり、試作品の引合いも多かったことから、同社は、当初計画していた来年春からの本格販売を前倒しにして年内から販売を開始することになりました。



同社の展示ブース

■ (株)ビークル、 第4回日本バイオベンチャー大賞受賞

(株)ビークルは優れたバイオベンチャー企業を表彰する「第四回日本バイオベンチャー大賞」(※)文部科学大臣賞を受賞。10月19日、ハイアット・リージェンシー・オオサカに高円宮妃殿下をお迎えして開かれた贈賞式に同社社長・谷川敬次郎氏が出席。同大賞は、バイオテクノロジーをベースに、独創的な研究開発や将来性に富むビジネスモデルの確立、斬新な機器の実用化などに果敢に挑むベンチャー企業を表彰する制度としてフジサンケイ ビジネスアイが2001年に創設しており、受賞企業は今回の7社を含め約30社に上り、その分野も医療をはじめ食品、環境などと多岐にわたっています。谷川社長は「ビークルは創業以来3年、多くの方々のご支援を

賜りながら、世界に通用するバイオ技術を目指して研究開発を進めてきて、ようやく商品化の目処が付きかけた時に受賞し、望外の光栄に身の引き締まるおもいがします。ビークルは世界でも類をみない新素材『バイオナノカプセル』の専門メーカーとして先端医療技術の臨床応用に向けて貢献していきたい」と語っています。(フジサンケイ ビジネスアイ) 今後の遺伝子治療分野における用途展開など将来の市場性も大きく注目されています。

※【主催】フジサンケイ ビジネスアイ 【後援】経済産業省、文部科学賞、大阪府、大阪商工会議所、関西経済連合会、産業経済連合会、産経新聞社、関西テレビなど

入居企業のご紹介

■ 株式会社ユニバーサルテクノロジーズ

入浴介助者用冷房介助スーツ「カーナピュア」 近日発売!

(株)ユニバーサルテクノロジーズは、大手電器メーカーを退職した河原昭二社長が平成17年4月に設立。「【価値創造と新市場の創出】」を目指し、新しい技術開発ならびに、従来の優れた技術の価値あるものへの変換に挑戦することを通じ、21世紀の社会に貢献する」という使命に基づき、現在は入浴介助者用冷房介助スーツ「カーナピュア」の開発中で年内に発売の予定です(表紙参照)。河原社長は退職の3年前からそれまでに培った「潜熱蓄熱冷技術」を活かして社会貢献できないかを検討。この間「ハートフルビジネスおかやま」の会員となり、介助の現場で非常に困っているのが入浴介助時の過酷な労働による脱水症状や腰痛であることを掴み、これらを社長の技術で解決したいと考え、プレインキュベーションセミナー、特許出願、ベンチャービジネスプランコンテスト応募などによりプランを練り上げた上で県内外の企業の協力を

得て創業に至っています。試作開発中の「カーナピュア」は軽さと涼しさを追求しておりスーツ重量は約500gで2時間位25℃～30℃の涼しさを保つ事ができるという。9月東京での国際福祉機器展(前頁参照)でも来場者の好評を博して「この場で買って帰りたい」などこれまでに100件近い具体的な引合いがあります。現在、全国10箇所以上の老人ホーム等の現場でフィールドテスト中で年内に発売を予定しており、今後大きな期待が寄せられています。

会社概要

代表者 河原 昭二
設立 2005年4月
TEL 086-286-9360
URL <http://www.universal-techno.com/>

新入居者（入居内定者）のご紹介

10月5日に第11回入居審査会が開かれ、厳正なる審査の結果、下記2社の入居の内定が発表されました。

入居内定企業名 代表者	事業の概要	所在地	分野
(株)エイ・エス・エイ 小池 一之	・全業種対応、電気/計装設備工事用「CAD図面 DATAテンプレート」の開発	岡山市	IT
SINCERRIOR (株) 今井 博	・通信事業者を販売対象としたパソコン設定用及び 診断用ソフトウェアの開発	赤磐市	IT

INFORMATION

■ ベンチャープラザちゅうごく in 岡山

来場者募集中！！

- 日時 11月22日(火) 10:00～17:30
- 会場 コンベックス岡山(岡山市大内田675)
- 主催 (独) 中小企業基盤整備機構中国支部、
岡山県、(財) 岡山県産業振興財団
- 入場料 無料
- プログラム
10:00～11:30 記念講演
「成功への絶対法則」～いま、何をすべきか～
【講師】(株)生活創庫 代表取締役社長 堀之内九一郎氏
・「マネーの虎」堀之内氏がベンチャーからの成功
の秘訣を語る

10:00～17:00 新製品展示(103者)

- ・中国地域において資金調達、販路開拓ビジネス
パートナーとのマッチングを求めている方

11:40～17:00 ビジネスプラン発表(9者)

13:00～16:00 ベンチャー・ビジネスプランコンテスト

- ・賞金500万円、成功を夢見る個人のユニーク
なビジネスプランの最終審査

ORIC入居企業からもアロイ工業(株)、(有)エイムテ
クノロジー、(株)シスコ・コミュニケーションズ、
花田技研工業(株)、(株)VOIPACK JAPAN、(株)ユニバー
サルテクノロジーズの計6社が参加します。
詳細は下記ホームページをご覧ください。

<http://www.optic.or.jp/vp/>

入居者募集中

随時、入居のご相談に応じていますので、
ご連絡下さい。(TEL. 086-286-9116)

■施設使用料

施設区分	面積	部屋数	使用料の月額
研究室小	約 25㎡	22	45,000円
研究室大	約 50㎡	30	88,000円
試作開発室	約 100㎡	6	175,000円

- ・入居後3年間は、更に1/2減免の制度もありま
す。
- ・複数室の利用も可能です。

■募集概要

対象： 情報通信や、ものづくり分野を中心に
新技術・新製品の開発、創業を目指
す個人・グループ・企業。

期間： 3年以内(再申請もできます)。

審査： 入居にあたり、審査があります。

■次回募集

原則として3ヶ月毎に入居者審査会を開催していま
す。次回は11月末までに事業計画書を提出された方
を対象に、12月中に開催の予定です。

(参考)【入居可能研究室】(2005年12月時点の予定)

研究室小 (25㎡) : 2室
研究室大 (50㎡) : 3室
試作開発室(100㎡) : 3室

